

1 はじめに

北宇和支部では、研究目標を「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践—教育の情報化の推進を通して—」とし、主に各町での活動を行っている。今年度は、新規に整備されたICTを活用した授業改善についてと、校務支援ソフトの活用に関する研修会などを積極的に行った。

2 情報教育委員会の活動について

(1) 第1回情報教育主任委員研修会

- ① 研究推進目標の立案
- ② 研究内容・推進計画の審議

(2) 第2回情報教育主任研修会（ICT活用教育研究推進校研究発表）

- ① 研究発表会への参加
- ② 講演 「全国平均を大幅に上回る学力を実現～山江村は何をしたか～」
講師 熊本県山江村教育委員会教育長 藤本 誠一 氏

(3) 新規導入ソフトウェアの活用研修会

- ① 校務支援ソフトウェアの使い方に関する研修会
- ② 児童用コンピュータソフトウェアの使い方に関する研修会

(4) 第3回情報教育主任委員研修会

- ① 今年度のまとめと反省
- ② 来年への引継ぎ
- ③ 情報交換

3 各校の情報教育への取組

本年度も各町単位での活動が中心となり、それぞれの学校が校内研修等に取り組んだ。

鬼北町では、ICTを活用した授業研究会を実施し、多くの先生方や地域の方々にも授業を見ていただき、これからのICTを活用した授業づくりの方向性を確認することができた。

また、校務支援ソフトウェアの活用に関する研修も各校において積極的に行われ、校務の情報化に向けて、意識も向上させることができた。

4 本年度の反省と今後の課題

鬼北町では、新しいICT機器が各校に導入され、すでに整備の終わっている松野町と共に北宇和郡の小・中学校での活用への意識は高まってきている。同時に新しい機器を有効に活用するための研究も、各校で始まったところである。

今後も活用に関する研修会を実施するとともに、各校の情報交換を密にして、北宇和郡全体で教育の情報化を推進していくことが課題である。